

北区会

車イステニス ダンロップ神戸オープン 2009へのボランティア参加

国際部会・北区会 (国10) 土井 昭政



今年も車イステニス神戸オープンが、4月23日から26日まで、しあわせの村と三木ブルボンビーンズドームで開催された。16回目の開催で昨年度とは少し異なり、国際テニス連盟(I T F)車イス

テニスツアーのランクが上がり、I T F 3として実施された。加えてテニスボールメーカーのダンロップが特別協賛金を提供したので冠大会となった。

グループわ 国際部会と北区会の会員が、昨年に引き続きボランティアとして延べ53名が参加した。昨年までは、しあわせの村のテニスコートでのみ開催されていたが、雨天を考慮し、最近では三木のビーンズドームも予約していた。結果的には使っていなかったため、今年はメインコートでビーンズドームとし、しあわせの村のコートはB、Cクラスの予選で使用され、最初の2日間のみとなった。そのためボランティア参加者が2ヶ所に分散したのと、ビーンズドームへの交通で若干の混乱があった。

我々が担当した作業は、空港への送迎添乗、駐車場整理、しあわせの村コートでのテント設営・撤収、飲み物・弁当の配布、トイレの汚物回収などで、例年と変わらなかった。昨年まで居た我々への作業指示者がいなくなり、作業に戸惑いが生じたが、概ね順調であったと思っている。

今年の参加選手には日本で初めての車イステニスのプロとなった国枝選手がいたので、多くの報道関係者がビーンズドームに来ていた。来年も同様の時期に開催されることが決まっており、車イスを操りながらボールを打ち返す素晴らしいプレーを見ることができるボランティア活動に、わから多くの参加者が集まることを実行委員として期待している。いである。

新会員と北区会役員との歓迎交流会

北区会副会長、(国8) 佐伯義昭

北区会では、恒例により6月1日(月)しあわせの村研修館大会議室で、「新会員歓迎交流会」を実施した。本年、入会した新会員は、13期生32名、その他6名の38名で、今回の交流会には新会員8名が参加し、役員18名と交流した。

現在グループ“わ”の北区会員は総数378名(H21年5月)で、グループ“わ”全体の30%強を占めて

いる。各種活動は地域を4ブロックに分け実施している。今回の交流会には各ブロックの役員が夫々2~6名参加



した。交流会は定刻10時北区会長土井昭政の挨拶、ボランティアは楽しくやりましょうから始まり、つづいてわ 本部加藤勇治理事長からは北区会会員数大派閥の地域で数は力なり1人でも仲間を増やし仲間づくりに心がけ“わ”の運営の重点である「こどもの健全育成推進」「高齢者の健康増進と生きがい作り」などに汗をかき楽しくやりましょうとの挨拶があった。それから新会員と役員の自己紹介、会則の説明、ボランティアグループの活動内容の説明(パワーポイントで)「神港園」「花山梅林会」「へ音記号」「K S C 広陵同窓会 In-Netクラブ」「通学安全見守り」「ここにこハウス」「清掃ゴミ拾い唐櫃台1丁目」、そして定例の年間行事等が発表された。その後、新会員からの運営委員の選出、質疑応答で会合は終了した。会合終了後、昼食を食べながら歓談し、午後1時に和やかな交流会は終了した。これを機会に、新会員の発想や意見を取り入れ、北区会を一層活性化すべきであると思った。いである。

花山梅林、「観梅とハイキングの集い」をしました。

花山梅林会事務局 (国9) 徳原 尚世

“道真が想いを 我らも 梅に託さん”



めぐる春と共に大切な自然を、そしてこの平和な世を、次世代が繋げて行ってくれるようにとの思いで、花山梅林を立ち上げて、2年目の春を迎えました。今年も紅梅が咲き始め、北区の遅い春の目覚めです。

梅林会のみなさまの力と知恵の結集のおかげで、梅林も拡充され、昨春150本植栽された梅の若木が、早や数輪の花を咲かせてくれています。

この機会に観梅を兼ねたハイキングを計画致しました。自由参加で申込も不要ですので、春の一日、足と目と脳の活性化をしてみませんか?

上記の花山梅林会初のイベントの呼びかけを、去る3月初旬に北区会メール保持の方々に発信いたしました。30名ほどご参加くださり、谷上駅から旧道を農村歌舞伎の舞台にも立ち寄り、1時間ほどの八(次頁へ続く)

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)